

東京都特別支援教育異校種連絡協議会
2026年6月23日（火）

多様なタイプの都立高等学校等について学ぶ

東京都立北豊島工科高等学校
主幹教諭 瓦田 尚

自己紹介

- ▶ 岩手県釜石市出身(ラグビーのまち!)
- ▶ 小学校時代、岩手県立青山養護学校に2年間に在籍(国立療養所盛岡病院に長期入院して通学)
- ▶ 養護学校教諭をめざし大学で勉学に励むも、取得単位の読み間違えて免許取得できず...
- ▶ 大学院時代に非常勤講師を務めた都立高校にて特別支援教育の必要性を痛感...「これからは普通学校にこそ必要!」
- ▶ 教員採用試験に落ち続け、さまざまな学校やバイトを転々と...
- ▶ 私立明星学園中学校勤務の後、三鷹市の自宅で私塾を開設
→こどもたちと一緒に勉強し、採用試験合格
- ▶ 都立多摩高校→荻窪高校→中野特別支援学校CSVを経て現職

本日のテーマ

- ▶ 多様な都立学校
 - ▶ 様々なタイプの高等学校
 - ▶ 工科高校
 - ▶ 特別支援学校
 - ▶ 入試制度その他
 - ▶ 発達障害教育等の取組
- ▶ 様々な教育課題やこれからの高校教育について
- ▶ よりよい進路選択のために

さまざまな都立高校

課程

- 1 全日制課程・・・朝から午後までの日中に授業があります。
- 2 定時制課程・・・夜間、その他定められた時間帯に授業があります。
- 3 通信制課程・・・自宅等で学習し、レポートなどの添削指導を受けながら、定められた日（月2日程度）に登校し、面接指導を受けます。

学年制と単位制

- 1 学年制・・・学習する教科・科目が、学年ごとに定められており、その学習成果が認められると単位が与えられ、次の学年に進級する制度です。全日制は3年、定時制は4年（一部は3年）を修了すると、卒業が認められます。
- 2 単位制・・・学年の区別がなく、3年間（又は4年間）の中で必修（必履修）科目の他に自分に適した教科・科目を選択し、その学習成果が認められ、入学から卒業までに決められた単位数を修得すれば卒業できる制度です。



令和8年度

東京都立高等学校に
入学を希望する皆さんへ



東京都教育委員会

エンカレッジスクール(全日制)

Q:「エンカレッジスクール」とは、どのような学校ですか？

A:エンカレッジ(encourage)とは、「励ます」、「力づける」を意味します。小・中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援しながら、勉強や学校行事・部活動などを通して学校生活を充実させる全日制の高校です。

Q:「エンカレッジスクール」には、どのような特色がありますか？

A:○生徒一人一人にきめ細かい指導を行うために、二人担任制を導入しています。

○1年次には、30分授業を実施し、午前中は座学、午後は体験学習及び選択授業が中心となるように、時間割編成を工夫することで、生徒の集中力を維持し、向上させます。

○「個に応じた指導と分かる授業の確立」を目指し、少人数制・習熟度別授業を導入しています。

○1年生から3年生まで、各学年1単位時間は、キャリアガイダンスの授業を行い、職業観を育てます。
また、人としての在り方・生き方などを3年間通して学び、規律正しい生活を重視することで、生徒の意欲と生きる力を育む教育を行います。

○多くの人との出会いにより、自らを律し、他者と協調し、他者を思いやる心など、豊かな人間性を育むため、体験学習を重視しています。

○ものづくりや資格取得など、自分の興味・関心に応じた専門的な学習ができるよう、工科高校も指定しています。

エンカレッジスクール(つづき)

☆エンカレッジスクールの特色☆

＜学校の特徴＞	＜授業の特徴＞	＜時間割の特徴＞
◎学力検査によらない入試 ◎二人の担任できめ細かな指導 ◎試験の点数よりも努力を評価	◎1年次には、集中できる30分授業により、基礎・基本を徹底 ◎少人数制・習熟度別授業によるきめ細かく分かる授業	◎キャリアガイダンス ◎選択授業 ◎多彩な体験学習

《エンカレッジスクール一覧》

- 蒲田高校
- 中野工科高校
- 練馬工科高校
- 足立東高校
- 東村山高校
- 秋留台高校



★調査書の提出あり。入学者選抜は小論文・作文、実技検査、面接などを実施。



チャレンジスクール（定時制）

Q：「チャレンジスクール」とは、どのような学校ですか？

A：○チャレンジスクールは、主に小・中学校で不登校の経験があったり、高校で中途退学を経験したりして、これまで能力や適性を十分に生かしきれなかった生徒が、自分の目標を見付け、それに向かってチャレンジする高校です。

○昼夜間の定時制・総合学科・単位制の高校です。自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて各時間帯（午前・午後・夜間の三部）を選んで入学できます。

Q：「チャレンジスクール」には、どのような特色がありますか？

A：○4年間かけて学ぶことを基本としますが、他部の科目の履修等により、3年間での卒業も可能です。

○国語、数学、英語等では「わかる国語」といった基礎科目を開設し、少人数のきめ細かい指導を通して、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、中学校の復習にも対応します。

○体験的な学習を重視し、ボランティア、福祉活動等を授業の一環として行います。

○社会生活のルールやマナー、言葉遣いなどに関する学習も行い、コミュニケーション能力や社会性を育てます。

○ホームルーム活動や相談活動を重視し、先生と生徒の触れ合いや生徒同士の交流を大切にします。

チャレンジスクール(つづき)

☆チャレンジスクールの特色☆

- ・学力検査や中学校からの調査書によらず、生徒の学習や学校生活への意欲を重視した入試を行います。
- ・基礎・基本を重視した学習を行うとともに、総合学科の特性を生かし、職業系を含めいろいろな専門科目を設置しています。
- ・ボランティア活動などの体験的な活動を通じて、豊かな人間性を育成します。
- ・カウンセリングや教育相談の充実など、心のケアに配慮したきめ細かい指導を行います。

《チャレンジスクール一覧》

- 六本木高校
- 大江戸高校
- 世田谷泉高校
- 稔ヶ丘高校
- 桐ヶ丘高校
- 小台橋高校
- 立川緑高校

★志願申告書の提出あり。
入学者選抜は作文、面接を実施。

(参考) 都立高校の総合学科

- ▶ 普通科目と幅広い専門科目を学ぶ
- ▶ 科目選択の際、目安となるよう相互に関連する科目をまとめた「系列」がある

学校名	系列		
桐ヶ丘	福祉・教養	情報・ビジネス	アート・デザイン
世田谷泉	生活・福祉	製作・技術	創作・表現
大江戸	伝統・文化	生活・福祉	情報・ビジネス
六本木	芸術・カルチャー	生活・ウェルネス	情報・サイエンス
稔ヶ丘	情報・デザイン	ビジネス・コミュニケーション	人間・環境
小台橋	情報・ビジネス	アート・デザイン	人文・自然
立川地区	生活・文化	アート・デザイン	人文・自然

昼夜間定時制高校

Q：「昼夜間定時制高校」とは、どのような学校ですか？

A：昼夜間定時制高校は、自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて、午前・午後・夜間の三つの部の中から選んで入学する定時制・単位制・三部制の普通科高校です（新宿山吹高校は四部制で、情報科も設置しています。）。

Q：「昼夜間定時制高校」には、どのような特色がありますか？

A：○ホームルーム活動を重視するなど、学年制のよさを残しており、また、職業に関する専門科目を設置するなど、総合学科の特徴も取り入れています。

○基礎・基本を重視し、習熟度別授業や少人数授業など、多様な授業形態を取り入れています。

○修業年限は4年を基本としていますが、他部の科目の履修や学校外での学習活動等により、3年で卒業することも可能とする「三修制」を実施しています。

○学校外での学修の成果を単位認定するなど、単位認定の弾力化を図っています。

授業時間帯などの例

部	時 限	時 間 帯	I 部の生徒	II 部の生徒	III 部の生徒
I 部	1 限 2 限 3 限 4 限	8:50 └ 12:25 (午前)	必修科目 & 選択科目	選択科目 	
II 部	5 限 6 限 7 限 8 限	13:10 16:45 (午後)	 選択科目	必修科目 & 選択科目	選択科目 
III 部	9 限 10 限 11 限 12 限	17:20 └ 21:10 (夜間)	※III部には学校給食があります。		必修科目 & 選択科目

昼夜間定時制（つづき）

☆昼夜間定時制高校の特色☆

- ・Ⅰ部（午前部）・Ⅱ部（午後部）・Ⅲ部（夜間部）の中から自分の所属する部を選び、1日4時限ずつ4年間かけて学ぶことが基本ですが、他の部と合わせて1日に6時限の授業を受けられるため、3年で卒業することもできます。
- ・単位制なので、学習の進み具合に合わせて学習計画が立てられます。
- ・1学級30人で、習熟度別授業も行いますので、きめ細かい指導が受けられます。
- ・デザイン、ビジネス、ファッション等の特色ある科目を選択して学ぶことができます。

《昼夜間定時制高校一覧》

○一橋高校※

○新宿山吹高校※

○浅草高校

○荻窪高校

○八王子拓真高校

○砂川高校※

※一橋高校、新宿山吹高校及び砂川高校では、併設している通信制課程との併修もできます。

★荻窪高校は他の部の授業と合わせて3年で卒業することは不可。

★特色ある科目の設置は学校によって異なる。

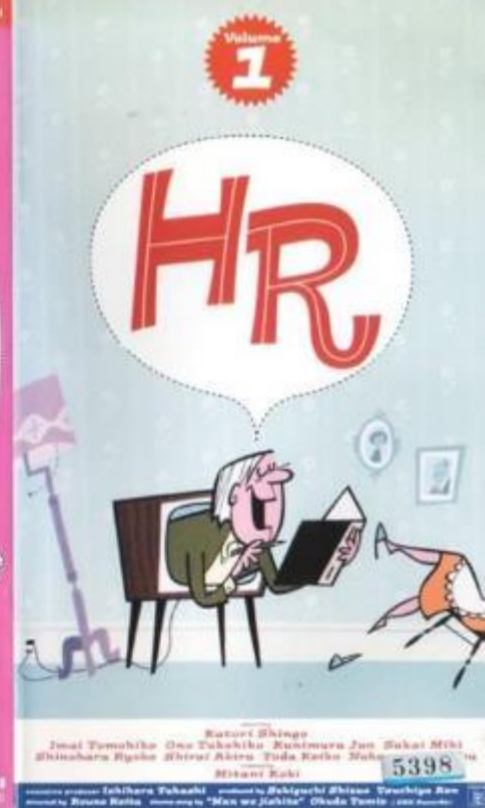
夜間定時制

- ▶ 全日制と校舎を併用
- ▶ 1クラス定員（30名）に満たないことも多い
- ▶ 二次募集、三次募集など何度も入学の機会がある
- ▶ 4年間の就学年数が基本だが、3修制がある学校もある
- ▶ 少人数のきめ細かい指導、落ち着いた学校生活
- ▶ 夜間給食が全校で保障（無償、昼夜間定時制の夜間部生徒も）
- ▶ 日中に放課後等デイサービスを活用している方も。
- ▶ 小山台、桜町、大山、北豊島工科、蔵前工科、葛飾商業はR8募集停止

定時制課程	学年制(夜間)	普通科	大崎、大森、松原、豊島、足立、南葛飾、江戸川、葛西南、農業、神代、町田、福生、五日市、大島、八丈	
		農業	園芸、農芸、農産、農業	
		工業	工芸、墨田工科、総合工科、中野工科、荒川工科、本所工科、小金井工科	
		商業	第三商業、足立、第五商業	
		併合科	瑞穂農芸(普通・農業)	
		産業科	橘	
	単位制	昼夜間	普通科	一橋、新宿山吹、浅草、荻窪、八王子拓真、砂川
			情報	新宿山吹
			総合学科(チャレンジスクール)	六本木、大江戸、世田谷泉、稔ヶ丘、桐ヶ丘、小台橋、立川緑
		夜間	普通科	六郷工科、飛鳥、板橋有徳
			工業	六郷工科
			総合学科	青梅総合、東久留米総合

こぼれ話

定時制高校（夜間中学）
を舞台にしたいろいろな
作品たち



通信制

- ▶ 都立通信制は一橋／新宿山吹／砂川
- ▶ 自学自習を基本とし、土曜日のスクーリングに通学
- ▶ 私立の通信制／サポート校のように「通学型」はない
- ▶ R8年度より前期募集を前倒し（これまでは4月実施）

工科高校（工業高校）について

▶ 工科高校に1か月半働いてみた感想

工科高校しか勝たん！！！！！！



Tokyo Metropolitan
KITATOSHIMA
High School of Technology

北豊島工科高等学校 都市防災技術科
ものづくりと防災に取り組む学校です

<https://www.metro.ed.jp/kitatoshimakoka-h/>



写真など いろいろ 紹介します

工業高校の中って、
見たことありますか？

https://photos.google.com/share/AFI QipPxomrql7SX YxE8eMjlq6TcandLe_gm6BI5D3KI QqjGfI 3SGStwI2iG H6K8iTJ3A?key=YjFianppbTN+tkVibU9weW9KS095U3 I6dzNubFFB

工科高校の魅力

- ▶ <https://www.toritsuko.metro.tokyo.lg.jp/technical/>
- ▶ 充実した施設・設備
- ▶ わかりやすい到達目標と手順
- ▶ 工業の先生に聞いた話
- ▶ 職員室前で見た風景
- ▶ https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/high_school/specialized_school/tech

工科高校ドリーム フェスタ

- ▶ <https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/2026-06-10-215554-823>



見て・触れて・心が動く

都立工科高校

ドリーム・フェスタ 2026

+ 日時 2026 8.2 日 10:00 >> 17:00

+ 会場 新宿住友ビル 三角広場(1F) / 住友ホール(B2F)

入場 無料

都立工科高校が一堂に会し、ものづくりの魅力や工科高校生の未来を体感できるイベントを開催します! ドローンやロボットなどの最新技術を体験できるほか、各校の特色や魅力がわかるステージも実施。在校生のリアルな声や学校生活の様子を知ることができます。

北豊島工科高校 学校公開等

2026 SCHOOL INFORMATION

学校見学会

6月20日(土) 14時～16時
8月 4日(火) 10時～12時
8月18日(火) 10時～12時

学校説明会

10月 4日(日) 10時～12時、14時～16時
11月21日(土) 14時～16時

個別相談会

12月13日(日) 10時～12時、14時～16時

体験入学

8月 4日(火) 13時～16時
8月18日(火) 13時～16時

授業公開

6月20日(土) 8時40分～11時50分
11月21日(土) 8時40分～11時50分

文化祭(白堊祭)

10月31日(土) 10時～14時

詳細については、本校ホームページでご確認ください。分からない場合は、本校に電話でご連絡ください。

体験入学(体験実習)…8月4日(火), 8月18日(火)

＜機械系＞ドローン競技体験(基本操作方法の習得・競技)／自動車点検(日常点検)

＜電気系＞楽しい電子工作(七色に光るLEDの制作)／プログラミングによるドローン制御

その他の専門学科

- ▶ https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/high_school/specialized_school
- ▶ 普通科以外の学科は私立高校には今やほとんどありません



受検上の配慮について

都立高校の入試では、一般の学力検査において、日本語指導を必要とする生徒等に対する配慮を行っています。

また、障害のある志願者が受検する場合、学力検査や小論文(作文)、面接等において、検査方法、検査時間及び検査会場等について、受検上の配慮を申請することが可能です。

日本語指導を必要とする生徒等に対する配慮

- 国籍を問わず、入国後の在日期间に応じて、日本語指導を必要とする生徒等に対する学力検査実施上の配慮を行います。
- 日本に入国後6年以内で、配慮を希望する志願者に対し、第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集における学力検査問題の共通問題について、ひらがなのルビを振った学力検査問題等での検査を実施します。
- 上記に加えて、日本に入国後3年以内で、配慮を希望する志願者に対しては、希望する外国語について、日本語に対する当該外国語の訳が記載されている辞書1冊、当該外国語に対する日本語の訳が記載されている辞書1冊の合計2冊(例：日中辞典と中日辞典)の持込みと検査時間の延長(10分)の配慮があります。
- 所定の申請書により、出願時に志願する都立高校長へ申請します。

障害のある受検者に対する配慮

- 障害のある志願者が受検する場合、学力検査、小論文(作文)、面接等において、検査方法、検査時間及び検査会場等について受検上の配慮を申請することが可能です。
- 実際に行う配慮の内容は、在学する中学校等で受検者が現在受けている配慮の内容を十分参考にしながら、受検者の状況に応じ、個別に決定します。なお、障害のある受検者に対する配慮として、以下のような事例があります。
- 所定の申請書により、志願先の都立高校長へ事前に申請します。申請は、在学する中学校を通して行いますので、中学校の先生に確認してください(現在中学校に在学していない場合は、志願先の都立高校に申請します。詳しくは、志願先の都立高校に問い合わせてください。)
- 都立高校への申請時期は、例年、12月中旬頃となっています(令和7年度入学者選抜では、令和6年12月20日までに提出としていました。)

【受検上の配慮の例】

障害等の内容	受検上の配慮（例）
視覚関係	・問題用紙・解答用紙の拡大 ・拡大鏡等の持込み
聴覚関係	・補聴器の持込み ・英語リスニングテストでの座席の配慮（スピーカーの近くなど） ・面接等における筆談（メモ、ホワイトボードの使用など）
発達障害	・別室受検 ・検査時間の延長 ・問題用紙・解答用紙へのルビ振り ・ＩＣＴ機器の使用 ・記号選択式での受検
肢体不自由	・介助者の同行 ・家族による送迎 ・車いすの使用 ・エレベーターの使用
その他、疾病、怪我などに関するもの	・医療用器具（インスリン注射、吸入器等）の持込（糖尿病、喘息等） ・飴、チョコレートなどの補食品の持込（糖尿病、低血糖等） ・松葉杖（骨折） ・タオル、ハンカチの持込、手袋の着用（多汗症） - 等

【参考】入学後の合理的配慮について

障害のある生徒等が都立高校に入学する場合、車椅子を使用している生徒には車椅子用の昇降式机、聴覚障害の生徒には聞き取りを援助するデジタル機器等の備品を整備するとともに、必要に応じてスロープ新設工事や手すり取付工事等を実施するなど、生徒等の障害に合わせた対応を行っています。

また、学校生活における様々な場面で支援を行うため、知的障害の生徒に対する介助職員の配置や、医療的ケアを必要とする生徒に対しては看護師を配置するなど、学校生活を安心して送るために必要な支援を実施しています。

入学者選抜に関するまとめ（日程は昨年度のもの）

	エンカレッジ	チャレンジ	昼夜間定時制	夜間定時制	通信制
調査書	あり	なし	あり	あり	あり
検査方法	小論文または作文、実技検査（学校による）、面接	志願申告書（事前作成）、作文、面接	学力検査、面接	学力検査、面接	学力検査、面接
推薦入試	あり	なし	なし（新宿山吹情報科のみあり）	なし	なし
一般入試日程	第一次募集 2/21(土)	第一次募集 2/21（土） ※欄外	分割前期2/21（土） 分割後期3/10（火） （新宿山吹は後期無し）	第一次、定時制第二次（3/26（木））、 三次以降は年度明け	前期2/22（日） 後期4月上旬

※チャレンジスクールは8月の二学期転入学募集で1学年に10名の「特別枠」募集があります

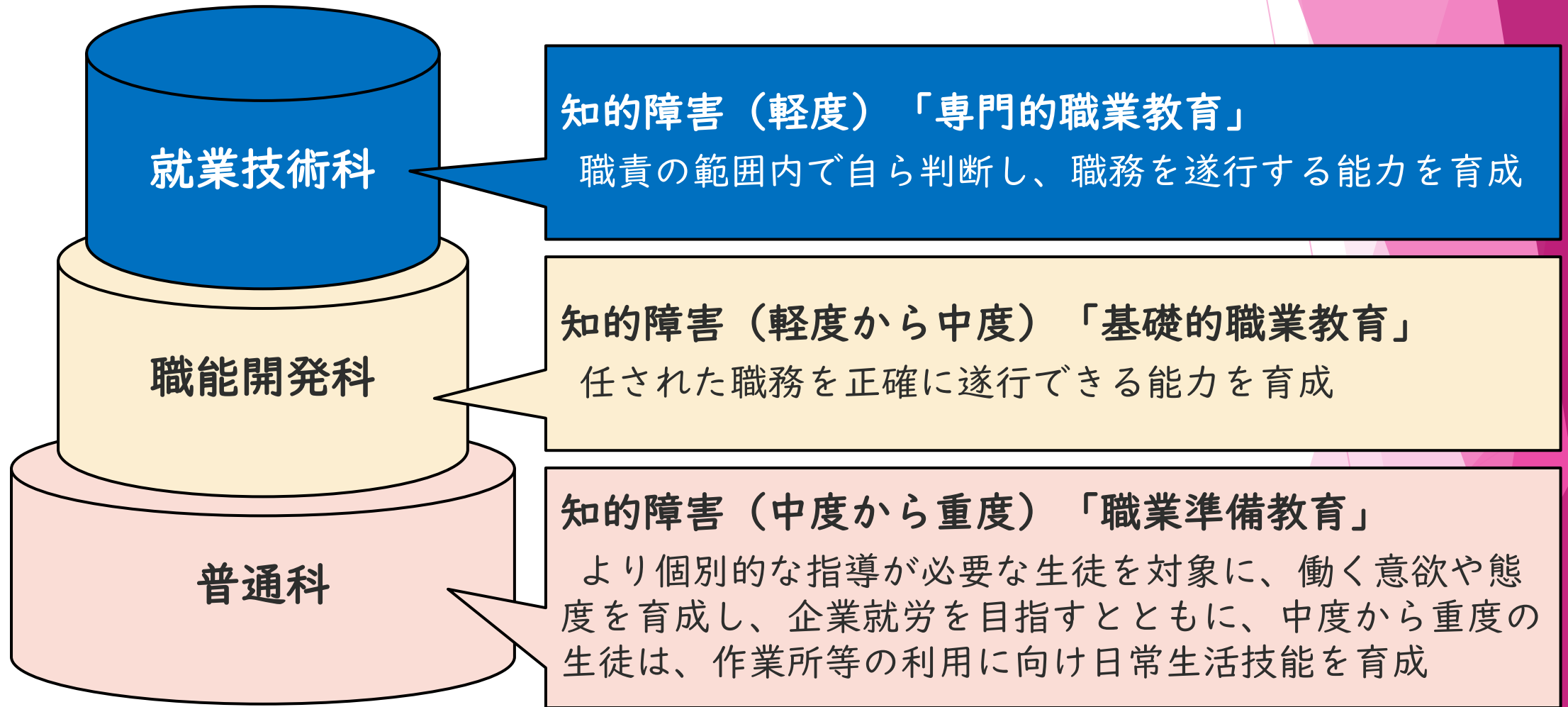
(参考) 令和8年度入学者選抜の受検倍率

- ▶ エンカレッジスクール・・・すべての学校で定員割れ
- ▶ チャレンジスクール・・・桐ヶ丘、小台橋で定員割れ
- ▶ 昼夜間定時制・・・新宿山吹、砂川は倍率が出る。その他は部により定員割れも。
- ▶ 夜間定時制・・・工芸のグラフィックアーツ科以外定員割れ
- ▶ 通信制・・・前期選抜において3校とも倍率が出る

[通信制課程（前期選抜）]

区市町村名	学 校 名	科 名	募 集 区 分	募集人員	最終応募人員	受検人員	受検倍率
千代田	一 橋	普通科	1 学年相当	50	69	66	1.32
新 宿	新 宿 山 吹	普通科	1 学年相当	25	80	71	2.84
立 川	砂 川	普通科	1 学年相当	50	89	84	1.68
計				125	238	221	1.77

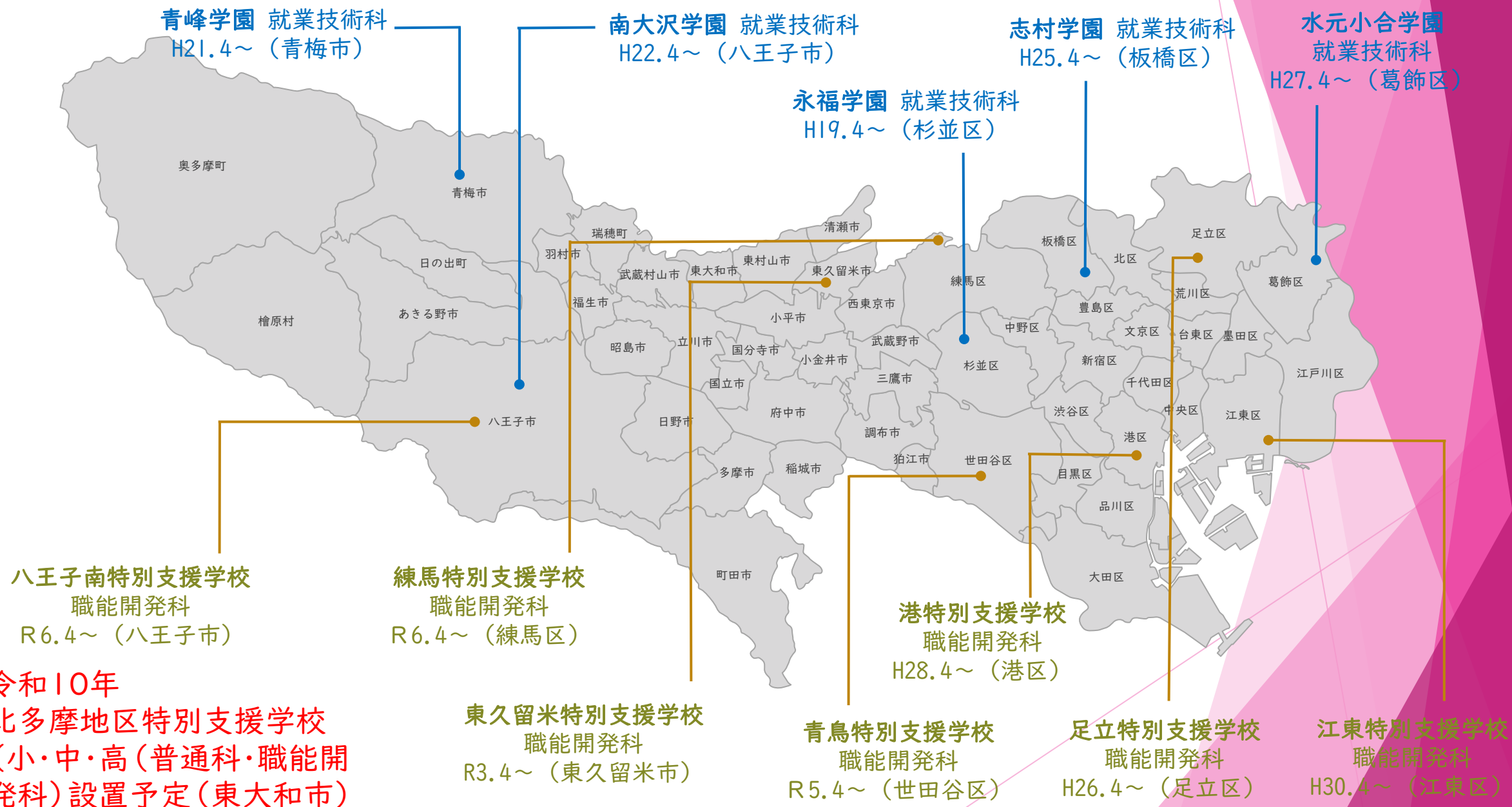
東京都立知的特別支援学校高等部における職業教育の充実



専門学科と普通科

	就業技術科	職能開発科	普通科
対象	将来 企業を目指す 知的障害が軽い生徒	将来 企業を目指す 知的障害が軽度から中 度の生徒	知的障害がある生徒
学級編制	Ⅰ学級10名		Ⅰ学級8名 ※重度重複学級：Ⅰ学級3名
育成すべき力	習得した知識と技能及 び就労先での経験を基 に、職責の範囲内で自 ら判断し、職務を遂行 できる能力を育成	就労先で求められる知 識と技能を習得し、任 された職務を正確に遂 行できる能力を育成	一人一人の障害の程度 や特性に応じ、「働く 生活」に向けて具体 的・実地的な職業能力 を高めることができる ようにします。

東京都立知的特別支援学校 専門学科



【参考】都立特別支援学校高等部の入学相談及び入学者選考について

都立特別支援学校高等部の入学相談及び入学者選考の日程は次のとおりです。

◎都立特別支援学校高等部普通科の入学相談

視 覚 障 害 ： 令 和 8 年 1 月 2 8 日（水）

聴 覚 障 害 ： 令 和 8 年 1 月 2 9 日（木）

肢体不自由 ： 令 和 8 年 1 月 2 8 日（水）

知的障害 ： 令 和 8 年 2 月 3 日（火）

（分教室）：令 和 8 年 2 月 4 日（水）

病 弱 ： 令 和 8 年 1 月 2 8 日（水）・1 月 2 9 日（木）

◎都立中高一貫型聴覚障害特別支援学校高等部普通科の入学者選考

前 期：令和7年11月28日（金）

後 期：令和8年 1月29日（木）

◎都立知的障害特別支援学校高等部就業技術科及び職能開発科の入学者選考

就業技術科：令和7年11月15日（土）（適性検査・面接）

職能開発科：令和7年11月15日（土）（適性検査）

12月 6日（土）（面接）

よくある質問①

- ▶ Q、夜間定時制高校って廊下をバイクが走ってトイレがタバコ臭いんでしょう？
- ▶ A、何十年前のことをおっしゃっているのでしょうか……

不登校経験者の割合が非常に高く、少人数の落ち着いた環境で学んでいます。体感にはなりますが、「不登校改善率（あまり好きな言葉ではありませんが）」は非常に高いと思います。

よくある質問②

- ▶ Q、工業高校って廊下をバイクが(略
- ▶ A、何十年前のことを(略



非常によくある質問

- ▶ Q、不登校などで調査書が斜線だと、チャレンジスクールしか受けられないと聞きました

- ▶ A、**間違いです!**

調査書がなくてもどの学校でも受検できます。

調査書点は学力検査等を踏まえて不利にならないような配慮がされることになっていますので、安心して受検してください。

(ちなみに、誰から聞いたの?と聞くと圧倒的に中学校の先生と言われます・・・
今日いらっしゃっている先生方にはもちろん不要な説明とは思いますが・・・)

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/09/2025092502>

(6) 調査書中の各教科の学習の記録を点数化する際は、受検者から提出された調査書の各教科の評定数値を当該受検者の在学する中学校から提出された成績一覧表において確認した後、学力検査を実施する教科は評定数値を1倍、学力検査を実施しない教科は評定数値を2倍して調査書点を算出する。ただし、在学する中学校から成績一覧表が提出されていない受検者、成績一覧表の除外人員となっている受検者及び評定を行うことができずに評定が斜線/（スラッシュ）となっている教科のある受検者については、学力検査の得点等の参考にできる資料を活用して当該都立高校が調査書点を求める。また、「A」と朱書された調査書（実施要綱第4－6－3(8)アを参照）により調査書点を算出する際には、受検者に不利にならないように扱う。調査書の記載内容に疑義がある場合は、都立高校長は当該中学校

－ 18 －

長に問い合わせ、内容を確認する。

なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校においては、各教科の観点別学習状況の評価を用いて調査書点を算出する。

都立高校における発達障害教育の手引き ～誰一人取り残さない学校づくり～

▶（「はじめに」より）

（前略）こうした取組の中、令和6年1月1日現在で約160人の生徒が通級による指導を受けています。令和3年度に東京都教育委員会が都立高等学校・都立中等教育学校を対象に実施した調査では、全日制課程及び定時制課程の学校に在籍する発達障害の可能性のある生徒は4,400人、在籍率で換算すると3.4%という回答結果が得られました。どの学校、どの学年、どの学級にも特別な支援を必要とする生徒が在籍するという認識に立ち、各校が生徒一人一人に応じた発達障害教育の推進を図っていく必要があります。この度、発達障害のある生徒を支援するための校内体制作りや通級による指導の開始に向けた手順等を手引きとしてまとめました。各校での、誰一人取り残さない学校づくりの推進にお役立ていただきますようお願いいたします。

都立高校における発達障害教育の手引き
～誰一人取り残さない学校づくり～

令和6年2月（第一版）

教育庁都立学校教育部特別支援教育課
発達障害教育推進担当



都立高校の 通級による指導

通級による指導とは？

大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について障害に応じた特別の指導を受ける指導形態です。都内公立小・中学校では、「特別支援教室」として全校に導入されています（自治体によっては「特別支援教室」とは別に要諦等をつけている場合があります）。

生徒の困っていることを改善するための授業です

周囲の人たちと
うまく関係を
つってきたい

感情を自分でコントロール
できるようになりたい

ちゃんと
スケジュール管理が
できるようになりたい

自分の困っていることを改善したい!と思ったら、まずは学校の先生に相談してみましょう



寄り添ってくれる人がいる。
支えてくれる学校がある。

こちら

コミュニケーションアシスト講座

都立高校の生徒がソーシャルスキルやコミュニケーションなど、学校生活で役立つスキルを学ぶための講座です。（土曜日や夏休みに学校以外の会場で実施する講座で、在籍校の教育課程には含まれません。）

詳細は、東京都教育委員会のホームページをご確認ください。

コミュニケーションアシスト講座



Q1



通級による指導では
どのような内容を学ぶのですか？

「人と上手にコミュニケーションができるようになりたい」「感情のコントロールができるようになりたい」「スケジュールや自己管理の方法を身に付けたい」など、生徒が困っていることに応じて、以下の例のように困っていることを改善・克服できるような内容を学びます。

〈指導例〉

- 相手の気持ちを気にかけずに発言するため、友人を怒らせてしまうことが多い生徒に、怒らせてしまった時の会話を書き出して可視化し、相手の気持ちを想像させる指導を行いました。これにより、相手の気持ちを理解して発言しようとするようになりました。
- 提出物や約束を忘れることが多い生徒に対し、スケジュール管理ソフトを用いて、期日等の優先度に応じた色分けや、リマインド機能を活用するなどの指導を行いました。これにより、提出忘れが減り、約束を忘れることも少なくなりました。

Q2



通級による指導は
どこで、誰が教えてくれるのですか？

自分が在籍している都立高校で、在籍校の先生と専門的な知識やノウハウのある支援員によるチームティーチング形式などの指導が受けられます。



以下の①～⑥を全て満たす生徒（⑥は小・中学校特別支援教室と同じ）

- ①都立高校又は都立中等教育学校後期課程に在籍する生徒
※全日制・定時制・通信制で、学校は問いません。
- ②知的障害がなく、発達障害等（自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害）があり、通常の授業におおむね参加でき、一部、障害に応じた特別な指導を必要とする生徒
- ③生徒本人と保護者が通級による指導を希望し、かつ、学校及び都教育委員会に指導が必要であると認められた生徒

Q3



通級による指導を受けたら
単位認定されますか？

各学校で、対象の生徒の個別指導計画などに、通級による指導の目標を定め、十分にその目標が達成できたと校長が判断した場合に、単位を認定します。

Q4



通級による指導を受けたことで
進学や就職に不利になりますか？

不利になることはありません。通級による指導により、進学先や就職先で必要なスキルや、サポートしてほしい時に支援を依頼できる力などを身に付けられるようにします。

Q5



通級による指導以外に受けられる支援は
ありますか？

授業での個別の配慮や教室のユニバーサルデザイン化による学びやすい環境づくりなどが考えられます。また、「コミュニケーションアシスト講座」（表面をご参照ください）もあります。通級との同時受講も可能です。

自分が困っていると感じていることをよく先生に話してみましょう。どのような支援ができるか、先生が相談に乗ってくれます。



特別支援教室や通級による指導などで指導を受けたことがある お子さまの保護者の皆様へ

お子さまのこれまでの支援などの状況を 進学先の都立高校にお伝えください

中学校で受けてきた特別な支援やご家庭での支援の状況などについて、進学先の都立高校にお知らせいただくことで、進学後の学校と一緒に授業での工夫などを検討できます。



高校段階では、進学や就職に向け、お子さま自身で決めることも多くなります。

自立して生活していくため、お子さま自身が自分の特性を理解し、特性に応じたコミュニケーション方法を身に付けるなどとともに、様々な場面から支援要請できるようになることは、大変重要です。

(中学校までの支援の状況などを進学先に適切に引き継ぎ、高校段階での授業における配慮や工夫などにつなげることが大切です。)

公立中学校や、都立中高一貫校へ進学される方へ
これまでの支援の情報などを共有することも大切です。

中学校では、ほとんどの授業を担当が指導していた小学校とは異なり、教科担任制により様々な教員が授業を行います。そのため、授業における配慮などお子さまへの支援に関する情報の共有が重要になります。



《支援に関する情報を、進学先に効果的に伝えたいために》

- ✓ 小学校や中学校などから卒業時に渡される、「学校生活支援シート（個別的教育支援計画）」などの支援に関する情報について、ご家庭での状況と合わせて進学先の都立高校などに提出いただきご相談ください。
- ✓ 卒業する学校と進学先の学校とで、面接、支援に関する情報を共有することも効果的です。ご家庭でもこうしたことにご理解いただき、学校間で情報共有してもよい旨を、在籍している学校や進学先の学校にお伝えください。

Q1 情報を進学先の都立高校に提供すると、何か支援や配慮を受けられるのでしょうか。

一例として、学習障害で読み書きに困難のある生徒に対し、イラストなどを活用した授業を行うことや、場面観察のある生徒に対し、授業中に口頭での回答を求めないなどの配慮などが考えられます。お子さまの状況や願いなどに合わせ、支援や配慮の内容を検討します。

Q2 子供が学校になじめていないと日ごろから感じています。相談を受けてもらえるのでしょうか。

過去の支援や資料の有無に関わらず心配なことがございましたら進学先の都立高校にご相談ください。ご相談を受けた後、お子さまに学習上や生活上の困難があると考えられる場合には、学校として、困難の改善に向けた方策を検討し、学校で実施可能な支援や授業での工夫などにつなげていきます。

Q3 これまで特別支援教室で指導を受けていました。進学後も通級による指導を受けたいのですが。

高校入学後は環境が大きく変わることから、生徒の学校での状況や困難さの実態を改めて把握し、通級を含めた支援の在り方を検討します。通級による指導が必要と判定されても、申し込みから指導開始まで数カ月以上かかる場合があります。早期に指導を開始するためにも、進学先の高校へ早めにご相談ください。

Q4 学校に相談し支援を受けることになった場合、成績に影響することはありませんか。

支援を受けること自体で、成績や進路指導にマイナスの影響が生じることはありません。むしろ、効果的な支援や配慮を得ることで学びやすくなり、成績に良い影響が出てくることが期待できます。また、卒業後の生活への安心感も高まると考えます。

Q5 学校生活支援シート（個別的教育支援計画）がありません。どうしたらいいですか。

進学先の学校と支援内容の情報を共有してほしい、進学先でも引き続き支援してほしい、というご希望を卒業する学校、進学先の学校の双方にお伝えください。学校間で情報共有と引継ぎを行い、これまでの支援内容を踏まえて、高校で実施可能な支援や授業での工夫などを検討します。

Q6 進学先にこれまで支援を受けていたことを知られたくありません。

学校生活支援シート（個別的教育支援計画）の提供や情報の共有は任意ですが、お子さまの成長の過程で、新たに困難な状況が生じることがあります。そうした場合における支援等に役立てるためにも、お子さまともご相談の上、進学先に情報を提供されることをご検討ください。



生徒への支援の一例を紹介します。

提出物を忘れがちな生徒への支援例

生徒Aさんは、提出期限を聞いても様々なところにメモするため、分からなくなってしまう。クラス担任は教科担任と協力し、日々の提出物や課題などを、教室のカレンダーに書き加えることとし、カレンダーを見れば全て分かるよう工夫しました。担任は生徒Aさんと相談し、短距離に必ずこれを携帯電話で写真に撮るとともに、自分のスケジュール帳にも書き写し、帰ってから保護者にも定期的に見せるというルールを設け、徹底するようにしました。結果として課題などの提出物を忘れることが減りました。保護者とは、自宅での確認をお願いするなどの連携を図るとともに、学校での支援の情報も面談などの場を通じて共有しています。

人前で声を出しにくい生徒への支援例

生徒Bさんは、家庭では話すことができますが、教室では声を出すことができません。そこで学校は、授業でグループワークを行う際などに、生徒Bさんが、ICT機器に意見を書き込み、他の生徒が見られるようにする場面を設定しています。また、クラスの生徒にも理解を促し、発表の際などに、別の生徒が代読することなどにより、生徒Bさんの意見や思いを他の生徒と共有できるようにしています。周りの生徒たちも生徒Bさんの心情を理解し、ICT機器も活用するなど、工夫しながらコミュニケーションを図っています。生徒Bさんも安心感が高まり、少しずつ言葉が出せるようになるなどの変化も見られています。



発達障害等教育における都教委施策

- ▶ 都立版エリアネットワーク
- ▶ コミュニケーションアシスト講座
- ▶ 働くチャレンジプログラム



私立通信制高校について

▶ 私立の通信制はシステムを要確認

→通学頻度は？ レポート提出方法は？スクーリングの場所は？

（一日も登校せず卒業できる通信制高校は法的に存在しません）

→1校で完結するのかサポート校とセットなのか【重要】

※サポート校は高校無償化の対象外

<参考>

東京都認可定時制

・通信制高等学校

課 程	校 名	電 話	所 在 地
定時制	国土舘高等学校	03-5481-5827	世田谷区若林4-33-1
	駿台学園高等学校	03-3914-5849	北区王子6-1-10
	中央大学高等学校	03-3814-5275	文京区春日1-13-27
通信制	大原学園高等学校	03-3237-3141	千代田区神田神保町2-42
	NHK学園高等学校	042-572-3151	国立市富士見台2-36-2
	科学技術学園高等学校	03-5494-7711	世田谷区成城1-11-1
	北豊島高等学校	03-3895-3051	荒川区東尾久6-34-24
	聖パウロ学園高等学校	042-651-3893	八王子市下恩方町2727
	東海大学付属望星高等学校	03-3467-8111	渋谷区富ヶ谷2-10-7
	目黒日本大学高等学校	03-3492-3388	目黒区目黒1-6-15
	立志舎高等学校	03-5608-1033	墨田区太平2-9-6

通信制高校とサポート校の関係

学びリンク 公式サイトより引用



- ▶ サポート校はあくまでも「通信制高校」の学習のサポートをする機関です。
- ▶ サポート校は高校無償化の対象外です。
- ▶ 「〇〇高等学校」という名前でない場合はほとんどサポート校です。

進路選択にあたって

- ▶ 何を身につけたいか（勉強？技術？資格？）
- ▶ しっかりと「本人が」希望できる進路か
- ▶ 高校／特別支援学校以外にも様々な選択肢

- ▶ 高等専修学校（専修学校高等課程）

<https://tsk.or.jp/education/koto.php>

- ▶ 職業能力開発センター

<https://www.cc-center.metro.tokyo.lg.jp/>

- ▶ 高卒認定試験

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiken/



「普通」ってなんだろう・・・

「普通」が苦手な人、「普通」を演じている人

Kimi to uchu wo
aruku tameni



「学校」を素因数分解してみる



不登校を
「分ける」→
「分かる」

原因・
きっかけ

登校頻度・
サイクル

健康状態

活動範囲

活動意欲

対人関係

学習意欲・能力

将来の展望
(本人の)

・・・etc

・・・ある程度認知されている分類ってないんですかね

不登校をめぐる動き

- ▶ 教育機会確保法（2016年） → 不登校の解決が「登校」に限らなくなった

https://www.mext.go.jp/content/20231018-mxt_syoto02-000021384_001010.pdf

- ▶ COCOLOプラン（2023年）

https://www.mext.go.jp/content/20230418-mxt_jidou02-000028870-cc.pdf

- ▶ 2024年の不登校児童生徒は約42万人（小14万、中21万、高6万）
- ▶ 「不登校は当たり前にある」という感覚の功罪

高校での不登校支援

- ▶ 高等学校等における多様な学習ニーズに対応した柔軟で質の高い学びの実現について（通知）（R6）

～全日制・定時制課程の不登校生徒が自宅等から高等学校の同時双方向型の遠隔授業を受講、36単位を上限に単位認定ができるように。

- ▶ 「各高等学校及び中等教育学校の後期課程にその実施を義務付けるものではなく、各学校長の判断により実施可能とするものであること。」となっている ～実施校はまだまだ少ないのが現状です。

特別支援学校と高校の連携で 生徒支援

瓦田 尚

東京都立中野特別支援学校主幹教諭／センター的機能スーパバイザー（CSV）

「義務教育／高校教育とは」

「高校は義務教育ではない」。高校教員ならば一度は（口にしたかはともかく）耳にしたことのあるフレーズではないだろうか。この枕詞に続くのは「だから（ある程度）自由に教育課程を編成できる」とか「生徒の学ぶ権利が最大限保障される」といった言葉であることはほとんどなく、「単位が取れなかったら進級・卒業できないのは当然だ」とか「出席日数が足りなければ在籍ができない」といった流れになることが常であると私の感覚としては捉えている。言うまでもなく義務教育の「義務」とは保護者が子に教育を受けさせる義務と、国や自治体が学校を設置する義務であるのだが、どういうわけかこのような文脈

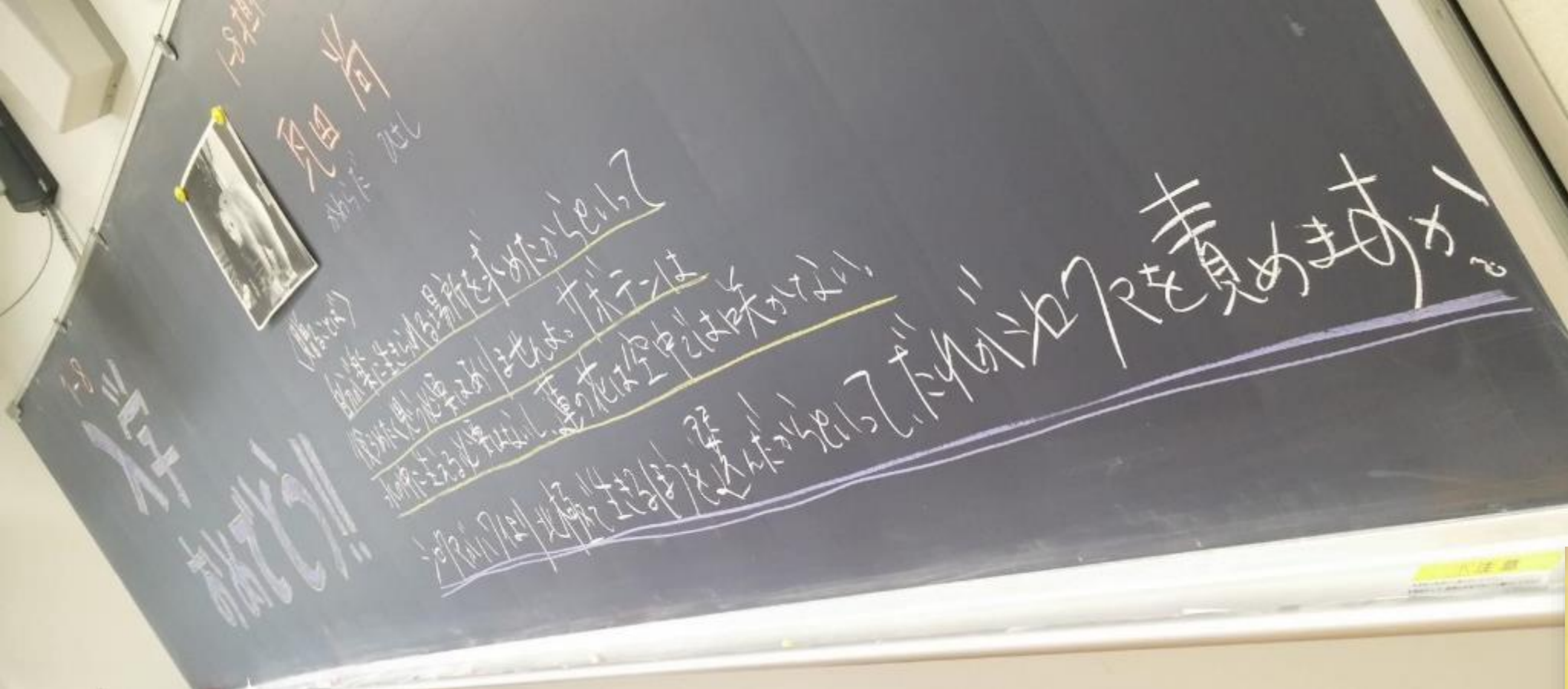
では「生徒が教育を受ける義務」と曲解されてはいないだろうか。高校進学率が98%を超える今日にあって、もはや高校教育は「選ばれしエリートが受ける教育」ではないことは明らかであるにもかかわらず、1984年に当時の文部省が撤回したはずの「適格者主義」が40年たった今なお高校現場に生き残り続いている、というのは言い過ぎであろうか。

私は2024年4月より都立学校発達障害教育推進エリアネットワーク（通称：都立版エリアネットワーク）拠点校に指定されている都立中野特別支援学校にセンター的機能スーパバイザー（CSV）として着任した。都立版エリアネットワークとは、知的障害教育部門の高等部を設置する特別支援学校を地区拠点校として、エリアにある複数の高校とネットワークを構築し、発達障害等の生徒支援について連携していく仕組みであ

高校教育とは

- ▶ 「適格者主義」
- ▶ 高校無償化や公立併願制のゆくえ
- ▶ セーフティネットとしての高校
- ▶ わたしの出会ったこどもたち

月刊高校教育 2024年7月号より



ご清聴ありがとうございました

自分が楽に生きられる場所を求めたからといって、後ろめたく思う必要はありませんよ。
サボテンは水の中に生える必要はないし、蓮の花は空中では咲かない。
しろくまがハワイより北極で生きる方を選んだからといって、だれがしろくまを責めますか。

